

学校家庭クラブ 活動報告

家庭クラブについて

学校家庭クラブ活動とは、家庭科で学んだ知識や技術を生かして、学校生活や地域の生活に目を向け、課題を見だし、問題点の改善や生活の充実に向上をめざして生徒が主体的に取り組む問題解決的な学習活動です。この活動は特別活動の部活動とは異なり、家庭科の教科としての活動です。授業で家庭科を学んでいる人全員が家庭クラブ員、履修が終わった人は準クラブ員です。

各ブロックの代表が、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の研究発表を行う全国高等学校家庭クラブ研究発表大会や、各都道府県の代表が交流を行う全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座も毎年実施されています。

本校においても後期課程にて家庭クラブ活動を行っています。「創造・勤労・愛情・奉仕」の四つの精神を活動の柱とし、学校や地域の生活をよりよいものにしようと、様々な実践活動に取り組んでいます。シンボルマークは、マークの中心に学校家庭クラブ活動を表すFHJ (Future Homemakers of Japan) をロゴとして意匠し、周りを囲む四つ葉のクローバーは、「創造・勤労・愛情・奉仕」を表すとともに、自然と環境も表しています。「人と人とのふれあいを大切に、自然と共に生きる」活動への思いが込められています。

令和6年度の主な活動

- | | |
|-----|---|
| 5月 | 校内家庭クラブ総会 |
| 6月 | 徳島県高等学校家庭クラブ連盟
代議員会（オンライン参加） |
| 7月 | 徳島県高等学校家庭クラブ連盟
総会（書面審議） |
| 8月 | 四国ブロック高等学校家庭クラブ
研究発表大会（徳島大会） |
| 9月 | 徳島県高等学校家庭クラブリー
ダー研修会
城ノ内祭展示・販売
・ユネスコ世界寺子屋運動の
紹介
・地産地消の商品販売
各種コンクール・コンテストへ
の参加 |
| 12月 | 【参加内容】
・ジュニア料理選手権
・全国高等学校ホームプロジ
エクトコンクール
・シーフード料理コンクール
家庭クラブ全国大会「ホーム
プロジェクトの部」参加
全国高等学校ホームプロジエク
トコンクール努力賞受賞 |
| 1月 | ユネスコ世界寺子屋運動
書きそんじハガキ回収
43HR 定本 弥奈
43HR 前田 知輝 |

四国ブロック高等学校家庭クラブ研究発表大会

8月5日・6日に、あわぎんホールで家庭クラブの四国大会が行われました。

この大会は2年ごとに行われており、徳島県では8年ぶりの開催になります。各県の大会で最優秀賞の高校が集まり、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動についての研究発表が行われました。

ホームプロジェクトの部では、高知追手前高等学校の「働き盛りの父のためにLet's try! 健康投資プロジェクト」が、学校家庭クラブ活動の部では、阿波西高等学校の「地域を想い、地域と共に豊かに生きる『阿波ベジの魅力再発見！自分たちにできること』」が最優秀賞となりました。他県の高校生の活動等を知ることができ、とても良い機会となりました。



徳島県高等学校家庭クラブリーダー研修会

8月19日に、徳島県立障がい者交流プラザで家庭クラブのリーダー研修会が行われ、本校からは2名のクラブ員が参加しました。

はじめに家庭クラブ指導者養成講座の報告があり、その後研修がありました。「バラスポーツをみんなで楽しむために」というテーマで、徳島県ボッチャ協会の

吉野哲一氏によるボッチャ体験が行われました。ボッチャという競技は、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツで、ヨーロッパ生まれのバラリンピック正式種目です。クラブ員も初めてのボッチャ体験でしたが、他校の生徒と協力しながら競技を楽しむことができ、充実した研修会となりました。以下は参加生徒の感想です。

○ ボッチャは思ったより簡単で分かりやすく、友達ができやすいスポーツだと思いました。参加者全員が楽しめたし、他校の人とも交流ができました。あつという間に友達ができ嬉しかったし、とてもいい経験になりました。

(52HR 音見 優依)
○ ボッチャは自分が考えていたよりシンプルなスポーツで楽しかったです。みんなが楽しむためには「声かけ」がとても大切だと感じました。自分のチームだけでなく、相手チームにもバラスの言葉をかけることで、全体の雰囲気明るくなると思いました。

(53HR 植松 瑞季)

